

# 富津市まち・ひと・しごと創生 総合戦略 素案

ひと と ひと とが つな がる 東京湾 自然 海岸 の まち

# 富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 目次

第1章 基本的な考え方	-----	1
1 趣旨	-----	1
2 基本方針	-----	2
(1) シティプロモーションによる地域の活性化	-----	2
(2) 住民参画によるマネジメントサイクル（PDCA）の実行	-----	3
(3) 経営改革の推進（入るを量りて出ずるを制す）	-----	3
3 総合戦略の位置付け、計画期間	-----	4
第2章 基本目標	-----	5
1 自分の暮らす地域を好きになる	-----	6
2 暮らしやすく、移住しやすい環境づくり	-----	10
3 子どもの笑顔があふれるまちへ	-----	14
4 市の産業、仕事を創る	-----	17



## 2 基本方針

少子化の抑制と市民の幸福感の増大を実現するため、以下の3項目を総合戦略の基本方針とします。

### (1) シティプロモーションによる地域の活性化

「シティプロモーション」は様々な概念が含まれる言葉ですが、ここでは「地域の魅力を知ること」「地域の内外の人々に地域の魅力を伝えること」「地域の魅力を知った人々に地域で生活・活動してもらい、あるいは地域の魅力を味わってもらうこと」の一連の流れであるとします。

まず、「富津」には、知ってほしい魅力が多くあります。

歴史を紐解けば、「富津」という地名は、日本武尊(ヤマトタケルノミコト)の妃の弟橘媛(オトタチバナヒメ)が海の神の怒りを鎮め日本武尊を助けるために身を捧げた際に、弟橘媛の衣の布が富津の海岸に流れ着いたことから「布流津」⇒「富津」となったという伝説が起源であるとされています。これは、日本書紀にまで遡るものです。また、それぞれの地域が守り続けている習わしや祭りもたくさんあります。

ここ「富津」は、字のとおり「ゆたかな海」のあるまちです。40キロに及ぶ自然海岸があり、ゆたかな海は広い世界につながっています。そして、ゆたかな海は、その背後のゆたかな田園地帯、里山に支えられています。これらの自然環境は、ゆたかな幸を生み出しています。

また、少し視点を変えてみると、都心からのアクセスの良さも魅力的です。アクアラインで羽田空港からわずか40分。市南部の金谷は、フェリーによる神奈川県からの玄関口です。「富津」は、東京湾の対岸や、その先にある様々な地域と繋がっています。

東京との繋がりを保ちつつ、自然の中で「東京湾の向こうの富士山に沈む夕日を眺めながら、海と田園と里山からの幸に舌鼓をうつ。」都市部より地価の安い「富津」であれば、こんなぜいたくなライフスタイルを格安で手に入れることができます。

首都圏にありながら、これだけの豊かさが「富津」にはあります。

「魚の目に水見えず、人の目に空見えず」(あまりに身近なものは大切であってもかえって気づきにくい)。という言葉があります。「日常」として埋もれてしまっていた魅力を「富津」に関わる人々が再発見し、お互いに、そして今まで「富津」を知らなかった人々に伝えていくことが大切です。

「富津」に関わるひとそれぞれが「富津」の魅力に気づき情報発信の担い手になることで情報の送り手と受け手がつながり、人と人のつながりの中で地域社会をより魅力的なものへと変えていくでしょう。そしてそれが「富津」で生活をしたい、「富津」でなにかしてみたい、「富津」を訪れてみたい、そんな人々を増やしていくのではないのでしょうか。

このような思いから、市のプロモーションテーマを次のとおりとします。

**「ひととひととがつながる東京湾自然海岸のまち 富津」**

**「東京湾を一望する『あったかい』まち 富津」**

「東京にいちばん近い海と里山のまち 富津」

「日本一の『普通』 富津」 Futtsu is futu



花田虎上（はなだまさる）さん（元横綱若乃花）と副市長との対談（第1回市民委員会）  
「富津は、東京に近く便利で、海産物も美味しいし、人も親切で足りないところはない。住んでいた東京と比べ、安全安心で子育て環境もとてもすばらしい。」と話されていました。

○「富津」の魅力を様々な場で発信されています。

## （2）住民参画によるマネジメントサイクル（PDCA）の実行

市民と行政が一緒になって総合戦略を創り上げるねらいは、

①市の課題の本質やその解決策を市民の生活実感の中から探ること、

②策定に関わる市民が行政に対して当事者意識を持ってもらうこと

でした。

また、一方で職員にとっては、市民と直接議論することで説明責任の重要性を再認識する契機となりました。

市民と一緒に創りあげた総合戦略ですので、その進捗管理についても住民参画の手法で実施します。

行政による施策の実行（Do）に対する評価（Check）や改善（Act）の段階においても、「富津市創生会議」と「富津市民委員会」で議論するほか、既存の審議会等とも連携を図るなど、広く市民から意見を取り入れる場を確保し、市民と行政が一体となって進めていきます。

※ マネージメントサイクル Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善することをいいます。

## （3）経営改革の推進（入るを量りて出ざるを制す）

富津市総合戦略の施策を着実に実行するためには、財源の確保が必要になります。総合戦略の着実かつ現実的な実施のため、市の経営改革を推進します。

収入を考えずに支出し続けることは、家計では考えられないこと。「富津市」のお財布についても、職員はもちろん市民一人ひとりが自分の家計のこのように健全な財政運営が行える環境づくりをめざします。

### 3 総合戦略の位置付け、計画期間

本戦略は、分野網羅的な計画ではなく、年少人口減少抑制のため特に重点的に取り組むものについて定め、本戦略に掲げていない分野別施策の方向性は、分野別計画に委ねます。

本戦略は、平成 27 年度から 31 年度までの 5 年間の計画とします。

## 第2章 基本目標

市の人口が減少していく中であっても将来にわたって市民一人ひとりがさらに富津に愛着をもち、幸せを感じられるまちの実現を目指すため、次の4つを基本目標とし、その下に記載の基本的方向を掲げます。

上記の目的を実現するためには、市民、地域、行政がそれぞれその役割を果たしつつ、互いに連携して取り組む必要があります。

具体的な取組は、「市民ができること」、「地域・民間ができること」と「行政の取組」として「施策」、「主な事業」及び施策の「目標値」をそれぞれ記載しています。

### <戦略の体系>

基本目標	基本的な施策の方向
1 自分のくらす地域を好きになる	① 地域への愛着が育つ ② 自慢できる地域力の構築 ③ 高齢者が地域で元気に暮らす ④ 地域ぐるみの防災、防犯体制の促進
2 くらしやすく、移住しやすい環境づくり	① 交通利便性を高める ② 住環境の整備 ③ 移住者受け入れの環境整備 ④ 生活環境の保全
3 子どもの笑顔があふれるまちへ	① 出会いの場を創出し、結婚の希望をかなえる ② 出産、子育てしやすい環境の整備 ③ のびのび学ぶ教育環境の整備
4 市の産業、仕事を創る	① 雇用の創出 ② 地場産業の振興 ③ 観光の振興

## 基本目標 1 自分のくらす地域を好きになる

自分が住む地域を見渡し、普段気付かなかった地域の魅力を再発見することで、地域に愛着を感じ、今まで以上に地域を好きになる

◇富津市の愛着度（市民意識調査） 54%（H27）⇒70%（H31）

### 基本的な施策の方向

#### ①地域への愛着が育つ

住民が地域の魅力を再確認し、地域への愛着を強くします。

### 基本的施策の方向に対する課題

・富津の強みでもある地域力はさらに向上する余地がある。

### 具体的な取組

市民が できること	地域・民間が できること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への愛着を持ち、地域を好きになる。</li> <li>・家族を大切にすることで子ども達に地元の大切さを理解してもらおう。</li> <li>・都会の生活を標準とせず地域に根を張って生活する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でできる事を考え、地域の魅力を作る。</li> <li>・地域の魅力を内外の人に伝える。</li> <li>・地域の中で趣味などを相互に共有する。</li> <li>・コミュニティの結束力を活かして人口が減っても協力し合えるようにする。</li> <li>・企業がまちづくりに参加する。</li> </ul>	施策 1 地域の魅力を再確認し、地域への愛着の醸成を図る。 <事業> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふつつのいいこと発信事業（広報ふつつ、ホームページ、Facebookの活用）</li> <li>・史跡めぐりや郷土史学習等の推進（出前講座の活用）</li> </ul>	富津市に愛着を持っている人の割合（市民意識調査） 54%（H27） ⇒70%（H31）

### 基本的な施策の方向

#### ②自慢できる地域力の構築

地域活動を知ってもらい、住民が地域に属するメリットを認識することで、地域活動の重要性に気付き、自ら地域活動に参加しようとする意識を持つようになります。また、地域活動を通じて住民同士が連携することで、誰もが暮らしやすい地域をつくります。

住民一人ひとりに地域情報等を的確に伝え、地域交流の場に参加できるようになることで、地域のつながりを更に強くします。



### 基本的施策の方向に対する課題

- ・行事や団体の活動など、市の情報を得る機会が少ない。
- ・個人、地域、行政の間で十分な情報共有ができていない。
- ・転入者の多い地域の中には、自治会活動が希薄になっているところもある。

### 具体的な取組

市民ができること	地域・民間ができること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会に加入するメリットを理解し、自治会未加入者に説明する。</li> <li>・地域に根付いた活動(側溝清掃など)に参加する。</li> <li>・自治会員の話聞いてみて、活動に少し参加してみる。</li> <li>・市の広報紙や回覧板をよく見る。</li> <li>・各種団体が行事を実施する時は参加し協力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の役割やメリットがわかるようなマニュアルを作成し、オープンにしていく。</li> <li>・各地域で年間行事を周知する。</li> <li>・定期的に地域で会合をもつ。</li> <li>・自治会に参加しやすいように「準会員制度」を作る。</li> <li>・地域の若者が互いにつながりを作り、リーダー、担い手を育成する。</li> <li>・地域住民の行事開催時に情報交換し、良い情報を地域に還元させる。</li> <li>・昔からの継続行事を絶やさない。</li> <li>・地域の行事に参加する人を増やす努力をする。</li> </ul>	<p>施策1 地域の特色を把握し、地域に即した活動が図れるよう協力する。</p> <p>&lt;事業&gt; ・自治振興事業</p> <p>施策2 地域活動団体等を支援することで、地域の担い手を育成する。</p> <p>&lt;事業&gt; ・市民が誇れる市の顔づくり関連事業 ・障害者総合支援協議会支援事業</p> <p>施策3 地域づくり団体等のネットワーク化を図り、シティープロモーションにつなげる。</p> <p>施策4 住民一人ひとりに地域情報を発信することで、地域交流に参加できるようにする。</p> <p>&lt;事業&gt; ・ふつつのいいこと発信事業(広報ふつつ、ホームページ、Facebookの活用)(再掲)</p>	<p>行政区(自治会)加入世帯割合 84%(H27) ⇒現状以上(H31)</p> <p>地域行事への参加経験の割合(市民意識調査) 74%(H27) ⇒80%(H31)</p>

		<p>施策5 日頃の生涯学習活動の成果を、多くの市民に伝え市民文化の向上を図る。 &lt;事業&gt; ・市民文化祭事業</p> <p>施策6 地域におけるスポーツ、レクリエーションの振興を図る。</p>	
--	--	--	--

### 基本的な施策の方向

#### ③高齢者が地域で元気に暮らす

地域との交流の場をつくることで、各自が生きがいを見つけ、元気に暮らせる支援をします。また、地域全体で安否確認などの見守りに取り組み、高齢者が安心して暮らせるまちを実現します。

### 基本的施策の方向に対する課題

- ・高齢者が交流、活動する場が少ない。
- ・地域ぐるみの高齢者の見守り、生活支援が不十分。

### 具体的な取組

市民ができること	地域・民間ができること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者世帯への声掛けをする。</li> <li>・地域の高齢者とコミュニケーションを図る。</li> <li>・地域にいる一人暮らし高齢者の状況を知る努力をする。</li> <li>・高齢者が若者に対し経験を話して伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの高齢者などを地域で見回る。</li> <li>・一人暮らしの高齢者に対する宅配サービスの機会を利用し、安否確認を図る。</li> <li>・地域行事に講師として招くなど、高齢者の得意分野を活かせる仕組みを作る。</li> </ul>	<p>施策1 高齢者が生きがいを感じられる場を提供し、地域と交流を図る。 &lt;事業&gt; ・市民のニーズに対応する公民館・市民会館学級講座の開設 ・老人クラブ活動事業</p> <p>施策2 地域で見守り、地</p>	<p>認知症サポーター養成講座受講者数 500人/年</p>

		域で皆を元気にさせる。 <事業> ・地域支援事業  ・要援護者地域見守り事業	
--	--	--	--

### 基本的な施策の方向

#### ④地域ぐるみの防災・防犯体制の促進

防災に関する講話や救急、消火、避難訓練等の指導を区や自主防災組織を対象に実施し、地域ぐるみの互助・共助意識の向上を目指します。

### 基本的施策の方向に対する課題

- ・避難場所、避難経路がわからないなど地域の防災体制が不十分。
- ・地域ぐるみの防犯対策が不十分。

### 具体的な取組

市民ができること	地域・民間ができること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族間での安否確認の仕方や共通の避難場所の確認をする。</li> <li>・家庭備蓄や防災用品を備える。</li> <li>・ハザードマップをチェックする。</li> <li>・自分で避難できそうな場所や避難経路を確認する。</li> <li>・防災訓練及び防犯パトロール、交通安全指導に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練などの年間の計画を作る。</li> <li>・普段からみんなで声掛けをする。</li> <li>・地域ぐるみで連携し、防犯意識を高める。</li> <li>・区単位で防犯パトロール隊を編成し、抑止力を高める。</li> </ul>	施策1 災害に備え相互に助け合う地域づくりに協力する。 <事業> ・地域防災力を高める各種講座の実施  ・自主防災組織設置事業 ・消防団を中核とした地域防災力の充実、強化(女性を含む消防団員の増員)	防災訓練を実施した地域団体数 15団体/年  自主防災組織設置数 56(H27) ⇒70以上(H31)  消防団員定員充足率 91%(H27) ⇒現状維持(H31)

## 基本目標 2 くらしやすく、移住しやすい環境づくり

豊かな自然環境と良質な生活環境を併せ持ち、これからも住み続けたい、住んでみたいと思うまち

◇「これからも富津に住み続けたい」の割合（市民意識調査） 77% (H27) ⇒85% (H31)

### 基本的な施策の方向

#### ①交通利便性を高める

民間事業者と連携し、交通利便性の向上を目指します。

### 基本的施策の方向に対する課題

- ・公共交通が利用しにくい。
- ・通学、通勤が不便。

### 具体的な取り組み

市民が できること	地域・民間が できること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス、JR や高速バスを通勤や通学に利用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通事業者は相互に連携し、利用しやすいダイヤを編成する。</li> <li>・企業が高速バスやJR の利用に協力する。</li> </ul>	<b>施策 1</b> 市内の交通利便性向上のため、近隣自治体、事業者、利用者などで検討する場を設ける。	公共交通網の整備に満足している人の割合（市民意識調査） 14% (H27) ⇒25% (H31)
		<b>施策 2</b> 現状を調査し、市民に公共交通の利用を働きかける。	
		<b>施策 3</b> 都心へのアクセス、利便性を向上させるため、近隣自治体とともに高速バス事業者に働きかける。	
		<b>&lt;事業&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速バス関連施設の整備</li> </ul>	

## 基本的な施策の方向

### ②住環境の整備

豊かな自然に育まれた地域特性を活かして、都市機能と地域資源がバランスよく配置されるまちづくりを行います。

## 基本的施策の方向に対する課題

- ・暮らしやすい環境づくりの工夫の余地がある。
- ・公園が利用されていない。
- ・若い人達が住みやすい環境になっていない。
- ・近くに買い物をする場所が少ない。

## 具体的な取り組み

市民ができること	地域・民間ができること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"><li>・自然に囲まれて暮らせる喜びを感じる。</li><li>・若い人が住みやすい地域づくりに協力する。</li><li>・三世同居や親との近居を考える。</li><li>・公園があることに目を向ける。</li><li>・市内の商店の利用を心がける。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・世代間で意見交換し、若い人の意見を取り入れるようにする。</li><li>・若い人達や子育て世代が住みよい優良な住宅を供給する。</li><li>・地域で公園の利用や管理を行う。</li><li>・商店マップをつくり、人を呼び込む。</li><li>・消費者のニーズにあったサービスを提供する。</li><li>・空き店舗を利活用する。</li></ul>	<p>施策1 社会状況の変化に応じたまちづくり &lt;事業&gt; ・都市計画マスタープランの見直し</p> <p>施策2 公園を利用しやすくするための仕組みを検討 &lt;事業&gt; ・児童遊園地管理運営事業 ・市民ふれあい公園管理事業</p> <p>施策3 道路や上水道等のインフラの計画的な整備と適正な維持管理</p>	住む場所に満足している人の割合(市民意識調査) 56% (H27) ⇒60% (H31)

## 基本的な施策の方向

### ③移住者受け入れの環境整備

都心からのアクセスの良さと豊かな自然を兼ね備えた、富津市でのライフスタイルを発信し、市の良さを知ってもらうことにより、移住、定住を促進します。

## 基本的施策の方向に対する課題

- ・地域の転入者受け入れ体制が不十分。
- ・新旧住民間、農業地域と市街地間のコミュニケーション、交流が不足している。
- ・空き地、空き家の現況把握や有効活用が不十分。

## 具体的な取り組み

市民が できること	地域・民間が できること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富津の自然環境の良さや移住するためのコストの安さなどの良い点を発信する。</li> <li>・転入者に対して区の説明をする。</li> <li>・地域の人達とのコミュニケーションを図り、繋がりをサポートする。</li> <li>・使用していない空き家や空地を活用する。</li> <li>・外国人の研修生・実習生の日常生活の支援をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家マップを作るとともに、地域でどんな活用をするか話し合う。</li> <li>・企業の独身者に富津市をよく知り好きになってもらい、移住したくなる気持ちにする。</li> <li>・地区で転入者を歓迎する。</li> <li>・転入者に情報を提供する。</li> <li>・田舎暮らし体験ツアーを実施する。</li> <li>・地域として外国人の困りごとを把握する。</li> <li>・富津らしいライフスタイルができる住宅を売り出す。</li> </ul>	<p>施策1 安価な地価を売りに、利便性の高い暮らしや豊かな自然の中での暮らしを発信</p> <p>施策2 半農半X*1のPR</p> <p>施策3 民間事業者と連携して、移住情報や空き家情報を提供し、転入を促進する。</p> <p>施策4 管理不全な空き家等の所有者等に適正な管理を促す。</p> <p>施策5 日本版 CCRC*2 を検討する。</p> <p>施策6 転入者を地域につなげる。</p> <p>&lt;事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と繋がる各担当窓口が連携し、転入者に対する情報提供の質を向上させる。</li> <li>・ふつつのいいこと発信事業(広報ふつつ、ホームページ、Facebook</li> </ul>	<p>移住相談件数 13件 (H26) ⇒100件 (H31)</p> <p>行政区(自治会)加入世帯割合 84% (H27) ⇒現状以上 (H31)</p>

		の活用) (再掲)	
--	--	-----------	--

\*1 半農半X：半自給的な農業とやりたい仕事を両立させる生き方

\*2 CCRC：Continuing Care Retirement Community

都心などから高齢者が移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくりを目指す取り組み

## 基本的な施策の方向

### ④生活環境の保全

地域の生活環境保全の取組を支援し、生活環境の向上を目指します。

### 基本的施策の方向に対する課題

- ・ごみの出し方、集積場所の管理に改善の余地がある。
- ・有害鳥獣の被害が広がっている。

### 具体的な取り組み

市民が できること	地域・民間が できること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今以上にごみの分別をする。</li> <li>・住んでいる地域のごみ出しのルールを守る。</li> <li>・自宅前は自分で清掃する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でも分別と減量をアピールする。</li> <li>・地域の雑草は地域で清掃する。</li> </ul>	<p>施策1 ごみの分別を周知する。</p> <p>&lt;事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ収集事業</li> <li>・資源ごみ回収活動推進事業</li> <li>・自治振興事業(再掲)</li> </ul> <p>施策2 有害鳥獣の出現を抑えるため、地域の環境整備を支援する。</p> <p>&lt;事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農村の多面的機能の維持</li> <li>・農作物被害対策事業</li> </ul>	<p>1人あたり1日のごみ排出量 1060g (H27) ⇒960g (H31)</p> <p>ゴミゼロ運動参加人数 12,000人 (H27) ⇒13,000人 (H31)</p>

## 基本目標3 子どもの笑顔があふれるまちへ

結婚の希望をかなえ、子育ての楽しさを分かち合い、家族と地域に笑顔があふれるまち

◇子育てしやすいと感じる世帯の割合（市民意識調査） 26%（H27）⇒50%（H31）

### 基本的な施策の方向

#### ①出会いの場を創出し、結婚の希望をかなえる

出会いの場を創出し、結婚を希望する市民の縁を結びます。

### 基本的な施策の方向に対する課題

- ・気軽に婚活できる場、出会う機会がない。

### 具体的な取組

市民が できること	地域・民間が できること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出会いの場に積極的に参加する。</li> <li>・同窓会などを開催しつながりを広げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い男女の仲を取り持つ仕組みと場をつくる（まちコン、田舎コンなど）。</li> </ul>	施策1 結婚を希望する人の縁を結ぶ <事業> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出会いの場創出</li> <li>・市民参画イベントの実施</li> </ul>	婚姻件数（千葉県健康福祉指導課「人口動態調査」） 162件（H26） ⇒現状以上（H31）

### 基本的な施策の方向

#### ②出産、子育てしやすい環境の整備

子育ての窓口の一本化と切れ目の無い支援、情報発信の推進により、出産や子育てに関する不安と負担を軽減します。

また、子どもと親が集まり交流する場を利用者と一緒につくります。

### 基本的な施策の方向に対する課題

- ・子どもや子育てについてワンストップで相談できる窓口がない。
- ・子どもや子育て世帯とのコミュニケーション（情報提供）が不足している。
- ・子どもや子育て世帯が集まりたいと思える場が無い。
- ・子ども達の安全の見守りへの協力がさらに必要。
- ・病院が少なく場所が分かりにくい、夜間医療の情報が伝わっていない。

### 具体的な取組



市民が できること	地域・民間が できること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りの親子に声を掛け、コミュニケーションを大事にする。</li> <li>・チラシ、広報などの配布物を読み、子育て世帯と交流するなど、情報収集のアンテナを張る。</li> <li>・子どもを見守る、見守りなどの場があれば協力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が中心となって、地元の子ども会、PTA、自治会、社会福祉協議会、行政など個人と各団体、組織のつなぎ役を担う。</li> <li>・地域で子育て世帯を助ける。</li> <li>・子育て交流できる場を作ることに協力をする（公園の清掃、子どもと高齢者が参加する運動会など）。</li> <li>・地域に呼び掛けて公園利用を地域で推進する。</li> <li>・地域で見守りを行い、安心して子どもが遊べるようにする。また、危ないことを注意できる環境を作る。</li> </ul>	<p>施策1 切れ目のない子育て支援の実施 &lt;事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て窓口一本化</li> <li>・(仮称)利用者支援事業</li> <li>・(仮称)ファミリーサポートセンター設置事業</li> <li>・学童保育の充実</li> </ul> <p>施策2 出産・子育て情報の発信強化 &lt;事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て情報サイト「イクトモ」周知、充実</li> <li>・病院情報の発信</li> </ul> <p>施策3 子どもや子育て世帯が集まる場づくり &lt;事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの開催</li> <li>・子育て支援センター事業</li> </ul> <p>施策4 子どもの安全の確保 &lt;事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども110番の家</li> <li>・地域子ども見守り隊</li> </ul>	<p>子育て支援の満足度（富津市子ども・子育て支援事業計画策定に伴う子育て世帯ニーズ調査）7%（H27） ⇒30%以上（H31）</p> <p>「イクトモ」ホームページの閲覧回数8,032回（H26） ⇒1万回（H31）</p> <p>ワークショップにより改善、充実した場の数 0箇所（H27） ⇒2箇所（H31）</p> <p>子ども110番の家378軒（H27） ⇒現状以上（H31）</p>

### 基本的な施策の方向

#### ③のびのび学ぶ教育環境の整備

育った地域に愛着を持ち、心身共に健康で確かな学力を身につけた子どもを育むため、教

育環境を整備します。

### 基本的な施策の方向に対する課題

- ・地域の強みや特性を活かした教育の更なる充実が必要。
- ・教育環境や学校給食に関するニーズに応じた情報提供。

### 具体的な取組

市民が できること	地域・民間が できること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の子ども達に地域の良い所や勉強、遊びを教える。</li> <li>・子どもが何を食べているか、関心を持つ。</li> <li>・食材などを調べることや告知に協力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でまちの先生を活用した体験型教育を実施する。</li> </ul>	<p>施策1 地域の特色ある教育による、ふるさとに愛着を持つ子どもの育成 &lt;事業&gt; ・(仮称) 富津の自然、歴史、社会の豊かさ活用事業</p> <p>施策2 子どもの学力向上推進 &lt;事業&gt; ・きめ細かな学校教育推進事業</p> <p>施策3 学校給食における地産地消の推進 &lt;事業&gt; ・地元産物の学校給食への優先的使用 ・給食食材に係る市民ボランティアとの連携</p> <p>施策4 富津市で活躍する人材育成の支援 &lt;事業&gt; ・(仮称) ふるさと育英資金事業</p>	<p>自分の地域の良さが回答できる子どもの割合(子どもへのアンケート調査) ⇒70%以上(H31)</p> <p>確かな学力を身につけた子どもの割合(富津市学校教育の指針に基づく保護者の評価) ⇒60%以上(H31)</p>

## 基本目標 4 市の産業・仕事を創る

地域経済に活力があり、雇用が確保され安定した生活のできるまち

◇働く場所の創出への満足度（市民意識調査） 14%（H27）⇒25%（H31）

### 基本的な施策の方向

#### ①雇用の創出

既存産業の振興や企業誘致により雇用機会を確保します。

### 基本的な施策の方向に対する課題

- ・雇用の受け皿が不足している。
- ・女性の働く場が不足している。
- ・企業誘致の奨励金が効果的でない。

### 具体的な取組

市民が できること	地域・民間が できること	行政の取組	
		施策	目標値
<p>・職に応じた能力や知識を身につける。</p>	<p>・地元の人を雇用する。</p> <p>・結婚、出産、子育てなどでも働きやすい就労の場を作る。</p> <p>・市内合同就職セミナーを実施する</p> <p>・企業見学会などを地域で計画する。</p>	<p>施策1 雇用ニーズの把握、市内雇用や女性の働く場の創出の促進</p> <p>&lt;事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致奨励制度の改善</li> <li>・女性の雇用や職域拡大に取り組む企業の表彰などのPR</li> </ul> <p>施策2 企業誘致、創業のための環境整備</p> <p>&lt;事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致奨励制度の改善（再掲）</li> <li>・創業支援策の検討</li> <li>・廃校等を活用した企業誘致</li> <li>・商工振興事業</li> </ul>	<p>富津市で働く人の数（市内事業所従業者数：経済センサス活動調査）</p> <p>17,080人（H24）</p> <p>⇒現状以上（H28）</p>

## 基本的な施策の方向

### ②地場産業の振興

農業及び漁業は富津市の基幹産業です。耕作放棄地の活用や新たな担い手の育成、6次産業化を推進し農林水産業の活性化を図ります。

### 基本的な施策の方向に対する課題

- ・担い手の高齢化、後継者不足などにより地場産業である農業、漁業が衰退している。
- ・農地が有効活用されていない。
- ・特産物の販売所がない。

### 具体的な取組

市民ができること	地域・民間ができること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業に関心のある人への呼びかけや農業の経験、技術を伝え残す。</li> <li>・休耕田の情報提供に協力する。</li> <li>・どのような富津市産の特産物や生産物があるか知り、市外の人へ宣伝する。</li> <li>・イベントに参加し協力する。</li> <li>・市内での消費を意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから農業に携わる人と、長年農業をしてきた人が相談できる場を作る。</li> <li>・休耕田の貸出や管理、人手不足の援助等に協力する。</li> <li>・会社で働きながら農業のできる環境作りをする。</li> <li>・農業、漁業体験を実施する。</li> <li>・地場製品の活用、ブランド化、6次産業化に取り組む。</li> <li>・ふるさと納税の返礼品の出品やイベントを企画し、地場製品の宣伝をする。</li> <li>・農産物、海産物などの物産店を作る。</li> </ul>	<b>施策 1</b> J A、漁協、商工会、観光協会、近隣自治体等と連携した地場製品の販路拡大やブランド化の促進 <事業> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとふつつ応援寄附</li> <li>・特産品開発調査、研究事業</li> <li>・商工会支援</li> <li>・観光協会支援</li> </ul> <b>施策 2</b> 新規就農者、農業経営の法人化等多様な担い手の育成 <事業> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青年就農給付金事業</li> </ul> <b>施策 3</b> 耕作放棄地の発生防止、解消 <事業> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物被害対策事業</li> <li>・農地中間管理事業</li> <li>・農村の多面的機能の維持</li> </ul>	ふるさとふつつ応援寄附額 1,052 万円 (H26) ⇒5 億円 (H31)  認定新規就農者数 1 人 (H27) ⇒5 人 (H31)  再生された耕作放棄地の累計面積 48a (H27) ⇒300a (H31)  漁業経営体数(漁業センサス) 400 (H25) ⇒現状維持 (H31)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地再生事業</li> </ul> <p>施策4 6次産業化の推進等農林水産業の活性化</p> <p>&lt;事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ共同利用施設整備事業</li> <li>・淡水魚かい類種苗放流事業(湊川アユ)</li> </ul>	
--	--	---	--

### 基本的な施策の方向

#### ③観光の振興

南北40kmの海岸線や緑豊かな自然や歴史的な地域資源、観光施設を面として機能させることで、交流人口の増加を図ります。

#### 基本的な施策の方向に対する課題

- ・観光地としての整備、PRが不十分

### 具体的な取組

市民ができること	地域・民間ができること	行政の取組	
		施策	目標値
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富津市の良いところや観光資源、マリンスポーツの情報などについて、インターネットや知人に発信、宣伝する。</li> <li>・観光に来た人が良かったと思えるようにきれいなまちづくりを意識し美化する。</li> <li>・観光ガイドなどボランティアで協力できることをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地としての環境づくりや資金集め、清掃活動などに協力する。</li> <li>・一般家庭で食べている新鮮な食材を使った店をつくる。</li> <li>・ハイキングやサイクリングに訪れた人向けのサービスを提供する。</li> <li>・マラソン、駅伝チームの誘致や受け入れをする。</li> <li>・農産物、海産物などの物産店を作る。</li> <li>・各種イベントの企画やモデルコース作りをする。</li> </ul>	<p>施策1 観光資源をつなぐ仕組みの調整、新たな観光資源の発掘と既にある資源の魅力発信</p> <p>&lt;事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地魅力アップ整備事業</li> <li>・海水浴場管理運営事業</li> <li>・富津市観光大使によるPR</li> </ul> <p>施策2 外国人観光客の受入態勢強化</p> <p>施策3 広域連携による</p>	<p>観光客入込数 2,146千人(H26) ⇒2,800千人(H31)</p>

		周遊型観光の推 進 <事業> ・宿泊、滞在型観 光促進事業	
--	--	---	--